

別紙3

チェックリストに基づく行動計画の例（トラック事業の例）

社 行動計画

1. 事業活動の概要 (省略)

2. グリーン経営推進チェックリストによる現状把握とその課題

- (1) 環境保全のための仕組み・体制の整備
環境方針及び推進体制の整備は、いずれもレベル2を達成したが、従業員に対する環境教育はレベル1の段階であり、それぞれについてレベルアップが必要である。
- (2) エコドライブの実施
燃費等に関する定量的な目標の設定等、アイドリングストップの励行、エコドライブ実施のための体制整備、エコドライブについての教育・指導、推進手段等の整備の各項目とも、レベル1の段階であり、全体として取組を強化する必要がある。
- (3) 低公害車の導入
最新規制適合ディーゼル車について、基準にしたがって代替を進めているが、低公害車の導入計画は持っていない。
- (4) 自動車の点検・整備
点検・整備責任者を任命し、ドライバーに対する教育や情報提供を行っている（点検・整備のための実施体制 レベル2）。点検・整備の実施は、日常点検・定期点検を法に沿って実施しているほか、ドライバーの報告をもとに随時必要に応じて点検を行っている。
- (5) 廃車・廃棄物の排出抑制、適正処理およびリサイクル
廃車・廃棄物については、適切な処理のできる事業者に委託して行っている（レベル1）。また、廃包装材の排出抑制については、日頃から使用済み包装材の整理、持ち帰りについて指導している（レベル1）。現状の取組を続けていきたい。

3. チェック結果を踏まえた今後の取組方針

燃費削減の観点から「エコドライブの取組」を重点的に実施する。このため、燃費の改善目標を設定するとともに、エコドライブの取組状況の把握とそれをもととした個別の指導を進めるなど、レベル3の達成に努める。

点検・整備の実施については、当面、法定点検の確実な実施に努めるが、車両の環境面の状況に応じた独自の基準等の設定についても検討する。

その他の項目については、当面、現状を維持することとする。なお、従業員への環境教育については、エコドライブや点検・整備に関する教育・指導を通じて、その充実を図る。

4. 「エコドライブの実施」に向けた取組

- (1) 燃料使用量の削減目標
エコドライブを確実に進め、平成 年度までに、燃料使用量を 年度に比較し、 %削減することを目的とする。このため、毎年度、 %の低減を図る。
- (2) 目標達成に向けた具体的な取組
エコドライブの取組結果を運転日報に記載させることをルール化し、取組の徹底を図るとともに、取組状況の記録・整理を行う（ 年度）。
取組結果を基に、ドライバーや車両ごとに取組の推進に向けて指導を行う（ 年度）。
車両の走行距離や燃料使用状況、エコドライブの取組状況に関するデータを基に燃費管理を行い、必要に応じて取組の見直しを行う（ 年度）。
見直しに当たっては、デジタルタコグラフやキー抜きロープ等の導入の必要性についても検討する。
年度にエコドライブ講習会に 名を参加させ、翌年度以降、参加者を講師とした社内の実技研修会を実施する。
ドライバー別の指導として、燃費の悪いドライバーへの注意を行うほか、燃費の優れたドライバーへ対しては表彰を行う。

5. その他の取組 (省略)